

東部土木 復旧・復興 だより

第19号

平成28年7月20日発行
宮城県東部土木事務所

災害復旧事業の進捗状況(平成28年6月末現在)

箇所数ベース

工種	事業箇所数			着手率	完了率
	全体	事業中	うち完了		
道路関係	569	549	522	96.5%	91.7%
河川関係	55	54	20	98.2%	36.4%
合計	624	603	542	96.6%	86.9%

事業費ベース

工種	事業費(億円)			着手率	完了率
	全体	事業中	うち完了		
道路関係	473	290	232	61.3%	49.0%
河川関係	1,710	1409	733	82.4%	42.9%
合計	2,183	1,699	965	77.8%	44.2%

トピックス 01

(国) 398号新北上大橋 現場見学会および開通式を 開催しました。



←開通式には石巻市長をはじめ県議会議員、地元行政委員の方々、約50名が参加。

↓現場見学会には約40名の参加

新北上大橋は平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により、北上川左岸側の2径間(L=155m)が流出するなどの甚大な被害を受け、災害復旧事業により復旧工事を進めてまいりました。震災後に仮橋を設置して交通を確保してまいりましたが、今年4月11日から2ヶ月間の終日全面通行止めにより新橋の架設工事を行いました。

新橋の架設にあたっては通行止め期間の短縮のためP1～P2間を横取り工法にて架設し、その際には現場見学会を開催しました。

その後、舗装工事等を行い車輛の通行が可能となったことから通行止めの解除に先立ち平成28年6月10日(金)11:00から開通式を開催しました。

今後は、歩道部の復旧等を引き続き実施し、秋頃に完成する予定です。



トピックス 02

災害復旧復興の加速化を 目指して、市町と復旧復興 連絡調整会議を開催 しました。

平成28年5月23日(東松島市)、24日(女川町)、6月2日(石巻市)の3日間をかけて、管内各市町との復旧復興連絡調整会議を実施しました。

この会議は、県と市町がそれぞれ実施する復旧復興事業の進捗状況や課題を共有し、意見を交換して各事業が円滑に進むよう行っているものです。

現場が進んできたことで明らかになる課題もあり、今後も定期的にも実施して、復旧復興事業を加速化していきたいと考えています。



各会議の様子→

左: 5月23日 東松島市
中: 5月24日 女川町
右: 6月2日 石巻市

浪分桜お披露目会・桜見納め会を開催しました。

平成28年4月12日、石巻市蛇田の石井閘門付近に植樹した2本の浪分桜のお披露目会とテング巣病のため伐採する5本の桜の見納め会を開催しました。

当日は浪分桜を寄贈していただいた佐野藤右衛門氏にお越しいただきました。



↑上) テング巣病のため伐採される桜

下) お披露目会の様子

↑祇園枝垂桜

スマイル
サポーター

スマイルサポーター(ロード)認定証が交付されました。

■ 認定団体 ■

老人クラブ桜球会 【会長 奥山 仁太郎 様(構成員20名)】

路線名) ①国道398号

活動区間) ①石巻市南境字新小堤地内~同大瓜字鐘地内(約600m)

②一般県道稲井沢田線

②石巻市真野字八の坪地内~同沢田字八幡下三番地内(約1,300m)

石巻市美園町内会 【会長 庄司 忠夫 様(構成員39名)】

路線名) 国道398号

活動区間) 石巻市南境跨道橋~市道中里南境線交差点(約300m)

平成28年6月3日、県が管理する道路の清掃活動等を行う方に、スマイルサポーター(ロード)認定証が交付されました。

これで当所管内のスマイルサポーターは、合計63団体*となりました。

認定された団体の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

*道路39団体、河川14団体、海岸8団体、公園2団体



左2名：桜球会の役員の皆様

中央：金子所長

右2名：美園町内会の役員の皆様

「スマイルサポーター」住民参加のまちづくりを図ることを目的として、県が管理する道路や河川等の清掃や緑化作業等、良好な環境づくりを積極的に取り組むボランティア団体等を「スマイルサポーター」として認定しています。

(都)大街道石巻港線 1工区が供用開始しました。

(都)大街道石巻港線(全体計画延長L=866m)の門脇町道路改築工事(石巻市門脇町地内 L=297m)が完成し、6月17日に供用開始しました。

本路線は、石巻港と石巻中心市街地を接続する路線であり、平成29年度の全線供用を目指し、鋭意事業の推進を図っています。



県議会議員の方々に北上運河等の状況を確認していただきました。

平成28年5月31日に県議会(建設企業委員会)の県内調査があり、北上運河と釜閘門の復旧状況を現場で確認していただきました。

北上運河は、東日本大震災に伴う津波により甚大な被害を受け、今後数十年から百数十年に発生する頻度の高い津波に対応する堤防の復旧を進めており、平成28年5月末の進捗率は97%となっております。

釜閘門は、明治時代の木製閘門跡が出土したため、文化財調査を実施しております。



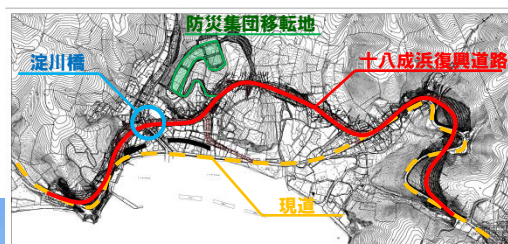
～復旧・復興の「今」を伝えます。～

いま

十八成浜復興道路事業において淀川橋の下部工が完成しました。

平成27年6月より着手した淀川橋下部工工事は平成28年5月に完成しました。

高台に設置される十八成浜防災集団移転団地から県道への接続を確保し、山側に道路が建設されることにより、津波時でも交通の確保が期待されます。



↑ 計画平面図



【橋梁概要】

- 橋長：L=42.00m
- 幅員：W=6.0(8.5)m

下部工形式：逆T式橋台

職員の技術能力向上を目指して、所内現場見学会を開催しました。

復旧・復興事業においては、通常時には見ることの少ない大規模な工事や、特殊な工法を実施している現場があります。当所では、職員の技術能力向上の一助とするべく、現場見学会を実施しています。

平成28年6月20日には、所内を対象に（主）女川牡鹿線の（仮）高白トンネル現場見学会を実施しました。

整然とした坑内で黙々と作業を進めている様子、巨大な掘削機械、仮設生コンプラントなどを見ることができる貴重な機会でした。

今後も所内外を対象とした現場見学会を開催したいと考えています。



（仮）高白トンネル現場見学会



現場掲示板の点検



重機械の点検

管内の災害復旧復興工事の安全点検を実施しました。

復旧・復興事業の本格化に伴い、県内での労働災害・公衆災害の発生件数が多くなっています。

現場内での事故発生を未然に防ぐため、復旧・復興工事現場における安全点検を実施しました。今後も事故ゼロ・危険ゼロを目指し、定期的に安全点検を実施していくことにしています。

災害復旧・復興事業の進行管理委員会を開催して、工事の進捗状況の確認を行っています。

災害復旧事業や復興事業を進めるにあたっては、実際に工事を行うだけでなく、事業に必要な用地買収や、国、市町、占用事業者などとの調整が必要となります。各事業が目標とする期日までに完成するためには、これらの調整事項を円滑に進めなくてはなりません。

当所では、事業進行管理委員会を2ヶ月に1回開催し、各班毎に事業が計画通りに進んでいるかを確認して、進んでいない場合はどうすればよいかを検討するなど、事業の遅れを最小限にするべく取り組んでいます。



事業進行管理委員会の様子（所長室）

各道県から多くの応援をいただいています。

当事務所には、新年度より北海道、秋田県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、石川県、奈良県、鳥取県、高知県、佐賀県、熊本県から27名の応援をいただいております。平成28年4月から職員151名となりました。

また、4月から19名の方が新たに応援職員として来ていただいておりますが、4月14日及び16日の熊本地震の発生に伴い、熊本県からの応援職員2名（倉野舜技師、西原啓史技師）は帰県されました。熊本県で被災された方々には心からお見舞い申し上げますと共に復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

今年度もチーム東部土木、職員一丸となって、一日も早い復旧・復興を、そして、さらなる「創造的復興」を目指して、頑張っております。

倉野 舜 技師

西原 啓史 技師



熊本県からの派遣職員が帰県されました。

東部土木復旧・復興だより

東部土木事務所管内の復旧・復興事業の進捗状況等を積極的に発信するため、平成24年7月より発行しています。



お問い合わせ先
宮城県東部土木事務所 企画担当チーム
〒986-0812
宮城県石巻市東中里二丁目1番1号
電話：0225-95-1151
メール：et-dbk@pref.miyagi.jp
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-dbk>